令和４年度 第１回 熊谷市地域公共交通会議 会議録

令和４年５月２６日（木）
午前１０時～午前１０時４５分
熊谷市役所大里庁舎２階　第３会議室

１　開　会
２　会長あいさつ
３　議　事

議案第１号　役員等の選出について
事務局：別添資料に従い説明
→　監事は藤野委員（熊谷地域代表）、渡辺委員（社会福祉協議会）に決定した。
小委員会委員については、議案書２３ページの案のとおり決定。

議案第２号　令和３年度事業報告について
事務局：別添資料に従い説明。
→　報告のとおり了承された。

議案第３号　令和４年度事業計画（案）について
事務局：別添資料に従い説明。
→　原案のとおり了承された。

議案第４号　令和４年度年度歳入歳出予算（案）について
事務局：別添資料に従い説明。
→　原案のとおり了承された。

議案第５号　生活交通確保維持改善計画（案）の策定について
事務局：別添資料に従い説明。
→　原案のとおり決定した。

議案第６号　熊谷市地域公共交通計画の策定について

事務局：別添資料に従い説明。

→　原案のとおり決定した。

・プロポーザル選定委員に大久保副会長、姉﨑委員、西野委員、山田委員が決定した。

・主な質疑

委員：計画期間は５年間か。

事務局：令和５年度から５年間で予定している。

委員：計画策定の目的の部分で新交通システムのイメージは。

事務局：計画に掲載できるかどうかは別になるが、本市で取り組んでいるスマートシティ等の取組と連携しながら、今後想定される自動運転システムや小型モビリティの活用等、本市に必要と思われる新たな交通システムなどの実現可能性について将来を見据えて検討していきたい。

委員：目的の中にある「コロナ禍」という文言について、計画最終年を考えたときにコロナ禍から脱している可能性もあり、ネガティブなイメージを連想させてしまうので、新しい生活様式等の文言などにしてはどうか。

事務局：まだ案の段階なので検討していきたい。

委員：Ｃｏ２削減についても盛り込んでみてはどうか。

会長：頂いた意見については、再度事務局で検討してもらい、文言修正等については、事務局に一任したいが。

委員：承知した。

委員：妻沼地域はゆうゆうバスの利用者が少ないが、ダイヤの見直し予定は。

事務局：各路線の状況を見ながら見直しを検討したい。

委員：今後、人口減少が加速していくと思われるが、バス路線を維持するため、多くの地域の方が利用してもらうよう声掛けをしていたい。

会長：人口減少社会に対応したと目的にもあるが、委員さんの頂いた意見については中期的な目標の中に入ると思う。また、現在の運行状況についても利用者数等把握しているので、それに応じたダイヤを考え検討している。中期的な部分も見据えて個々の部分についても検討していければと考える。

細かな部分については小委員会で検討させてもらえればと思う。

4　報告事項

報告第１号　熊谷市地域公共交通会議設置要綱の改正について

事務局：別添資料に従い説明。

→　承認。

報告第２号　バス停留所の移設について

事務局：別添資料に従い説明。

→　承認

5　閉　会